

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第124号 R6.9.17

第17回 ふれあいのつどい 開催(9月7日) ～福祉まつり・笑顔でくらするまち～ ～吉川中学校区フェスティバル・キラキラ元気な子どもたち～

“地域の大人が地域の子どもを育むこと”の大切さを共感し、福祉と教育への理解と関心を深めることを目的に、「第17回ふれあいのつどい」が、保健福祉センター及び周辺で開催されました。小さな子どもから高齢の方まで、様々なコーナーでの催しものを楽しむことができました。



吉川中学校吹奏楽部員による暑さに負けない元気な司会で始まりました。



光風台小学校3年生・4年生有志による「花笠音頭」の発表(花笠の動かし方が上手できれいでした！)



東ときわ台小学校3・4年生有志による「南中ソーラン」の発表(力強い踊りとかけ声に圧倒されました！)



各学校園所のお楽しみコーナー(ミニSL・プラスチック金魚すくい・スマートボール)



東地区で収穫された新鮮野菜の販売



吉川中学校生徒によるスマホ教室(とても丁寧に教えていました。今回も大盛況でした！)



小中学生のボランティアによる小さいお子さんへの対応

とよのを知ろう とよのを学ぼう ③ 「キャリア教育」の実践

「豊能の自然から、科学の心を育てるには・・・」(ひかり幼稚園)

園庭にいる虫探しが日課の子どもたち。虫かご、網を持ち、キラキラした目で小さな生き物を見つけている姿があります。4歳児が探しているのはダンゴムシ。そんな大好きなダンゴムシをもっと調べてみたいと思い、元理科教師をされていた先生を講師に迎え、保護者の方と共に子どもたちが興味をもっている生き物の面白さや神秘さを共有しました。一人1匹のダンゴムシを手に取り見つめ、形や動きを見ていきました。紙の上で積み木などを使って道を作ると前に進んでいくダンゴムシ。その様子を見て、「後ろには進まない。」「なんでだろう。」「と気付きます。「足は何本ある?」「エビと同じ仲間?」「オスとメスの違いは?」など発見がたくさんあります。知らなかったことに気付いたり、触ってみることで命を感じたり、身近な自然への興味や関心が高まり、様々な思いを親子で感じる事ができました。子どもたちの目線に立つことで改めて、自然の中に育つ生き物のこと、豊能が自然の宝庫であることを感じられた時間でもありました。



ひかり幼稚園にはカブトムシやスズムシ、カナヘビ、チョウチョ、カマキリなどたくさんの生き物がいます。玄関には科学・自然のコーナーを作り、今はスズムシがきれいな鳴き声を聴かせてくれています。「遊びを通した学び」の中で子どもたちは「生きる力」を育ていき、このような経験が小学校での生活や学習の基盤に繋がっていくことを願っています。



新 ALT (外国語指導助手) の着任

8月より豊能町に新しいALT(外国語指導助手)の先生、Joey Jun Yi Lee(ジョーイ ジュンイ リー)さんが着任しました。ジョーイさんは吉川小学校、光風台小学校、東ときわ台小学校に勤務します。また、保育所・幼稚園・こども園などに行くこともあります。

ジョーイさんは、豊能町での勤務にとっても意欲的で、本町の英語教育の充実に向けてとても心強いです。

【Joey Jun Yi Lee(ジョーイ ジュンイ リー)さんの自己紹介】

初めまして!Joey Jun Yi Leeと申します。ジョーイと呼んでください。オーストラリア連邦のメルボルン市から来ました。私は幼い頃からずっと日本の文化に対して深い興味を持っているので、大学で日本語を専攻していました。私は、豊能町で皆さんの英語が上達するように、そしてオーストラリアの文化を紹介するために、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

